

受験番号

執行官採用選考  
選考申込書

私は、次のとおり山口地方裁判所執行官採用選考を受験したいので、申し込みます。  
私は、日本の国籍を有しており、国家公務員法第38条各号のいずれにも該当しておりません。  
また、この申込書の記載事項は、事実と相違ありません。

令和 年 月 日

ふりがな	性別	<p style="text-align: center;">写 真</p> <p>1 写真の裏に氏名を書いた後、裏全面にのりをつけて貼ってください。</p> <p>2 写真は、縦6cm、横4.5cmのもので、申込み前3か月以内の脱帽、正面向き、上半身を撮った必要があります。</p> <p>3 写真を貼っていない場合又は不鮮明その他受験用として適当でない場合には受理しません。</p>
氏 名	男・女	
生年月日 年 月 日 (満 歳)		
ふりがな		令和 年 月 撮影
現住所 (〒 - )		
電話番号 ( )		
緊急連絡先電話番号 ( )		
( <input type="checkbox"/> 方(続柄) ) <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 携帯電話		

年	月	学歴、職歴など(各別にまとめて記載する。)
筆記試験免除に関する資格		

## 選考資格に係る申告書

次のいずれかにチェックをする。

- 一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）第6条第1項各号に規定する俸給表のうち、次の俸給表の適用又は準用を受ける職員としての実務の経験年数が通算して10年以上の者
  - 行政職俸給表（一）       税務職俸給表       公安職俸給表（一）       公安職俸給表（二）
- 弁護士、弁理士、司法書士又は不動産鑑定士としての実務の経験年数が通算して10年以上の者
- 銀行、長期信用銀行、信用金庫、労働金庫又は信用協同組合における実務の経験年数が通算して10年以上の者
- 上記以外の者で法律に関する実務を経験した年数が通算して10年以上の者（次の「法律に関する実務の経験」欄に所定の事項を記入する。）

（法律に関する実務の経験）

年	月	日	勤務先の名称	①具体的な勤務内容及び②当該勤務が「法律に関する実務」に該当すると考える理由（当該実務の経験年数）
法律に関する実務を経験した年数（通算）				年

この申告書の記載事項は、事実と相違ありません。    申告者氏名 \_\_\_\_\_

- (注) 1   記載しきれない場合は、適宜別紙を用いて差し支えありません。
- 2   経験年数は、採用予定日現在で記載してください。
- 3   この書面の記載に虚偽があったときは、任官後であっても免職になることがあります。

(記載例)

受験番号	
------	--

**執行官採用選考  
選考申込書**

私は、次のとおり山口地方裁判所執行官採用選考を受験したいので、申し込みます。  
 私は、日本の国籍を有しており、国家公務員法第38条各号のいずれにも該当していません。  
 また、この申込書の記載事項は、事実と相違ありません。

令和 年 月 日

ふりがな	性別	写 真  1 写真の裏に氏名を書いた後、裏全面にのりをつけて貼ってください。 2 写真は、縦6cm、横4.5cmのもので、申込み前3か月以内の脱帽、正面向き、上半身を撮ったものがが必要です。 3 写真を貼っていない場合又は不鮮明その他受験用として適当でない場合には受理しません。
氏名	男・女	
生年月日	年 月 日 (満 歳)	
ふりがな	現住所 (〒 - )	
電話番号		
緊急連絡先電話番号	( )	令和 年 月撮影
( <input type="checkbox"/> 方(続柄) ) <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 携帯電話		

年	月	学歴，職歴など（各別にまとめて記載する。）
(記載例)		
昭和○	○	○○県立○○高等学校卒業
昭和○	○	○○大学法学部卒業
昭和○	○	○○株式会社入社（○○支店勤務）
平成○	○	○○株式会社○○支店勤務
令和○	○	○○株式会社本店勤務
現 在		
筆記試験免除に関する資格		
(記載例)		
平成○		司法書士試験合格

(記載例)

選考資格に係る申告書

次のいずれかにチェックをする。

- 一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）第6条第1項各号に規定する俸給表のうち、次の俸給表の適用又は準用を受ける職員としての実務の経験年数が通算して10年以上の者
  - 行政職俸給表（一）     税務職俸給表     公安職俸給表（一）     公安職俸給表（二）
- 弁護士、弁理士、司法書士又は不動産鑑定士としての実務の経験年数が通算して10年以上の者
- 銀行、長期信用銀行、信用金庫、労働金庫又は信用協同組合における実務の経験年数が通算して10年以上の者
- 上記以外の者で法律に関する実務を経験した年数が通算して10年以上の者（次の「法律に関する実務の経験」欄に所定の事項を記入する。）

(法律に関する実務の経験)

年	月	日	勤務先の名称	①具体的な勤務内容及び②当該勤務が「法律に関する実務」に該当すると考える理由（当該実務の経験年数）
(記載例)				
昭和〇〇	〇	〇	〇〇株式会社〇〇支店	①法人及び個人に対する貸付業務、②貸付審査において物件の調査及び抵当権設定手続きに関与した。（5年3月）
平成〇〇	〇	〇	〇〇株式会社本店	①債権管理業務、②民事執行の申立てに関する事務に関与した。（6年0月）
法律に関する実務を経験した年数（通算）				年

この申告書の記載事項は、事実と相違ありません。 申告者氏名 \_\_\_\_\_

- (注) 1 記載しきれない場合は、適宜別紙を用いて差し支えありません。
- 2 経験年数は、採用予定日現在で記載してください。
- 3 この書面の記載に虚偽があったときは、任官後であっても免職になることがあります。